



明治 150 年記念「生誕 150 年 佐藤孝三郎翁特別展」（11 月 21 日～23 日、かわせみホール研修室）明治元年、小塩生まれの行政官 佐藤孝三郎氏（福井県知事・名古屋市長・函館市長等を歴任）のゆかりの品などが展示されました。（写真＝開会行事での講演、左から：河北宣正さん、佐藤好英さん）



小塩ん村の秋まつり（11 月 18 日、小塩真美野運動場）地元産の米や野菜などの販売、芸能大会などで賑わいました。また、「柿街道ウォークラリー」では道の駅うきはから真美野まで、晩秋の風景を楽しみながら歩きました。（写真＝小塩小学校児童による元気なダンス）



うきは市・久留米工業大学・筑後信用金庫が包括連携協定締結（11 月 19 日、市役所）協定締結を機に、「うきははライトプロジェクト」（学生による空き家の活用等の提案）などの連携事業を推進していきます。（写真＝左から：高木市長、今泉勝己学長、江口和規理事長）



うきはは応援団！！企業パートナー認定式（11 月 19 日、市役所）築 150 年の古民家を改装したレストラン「きふね」（道の駅うきは北側に昨年オープン）を運営する（株）シンクロファーマネット 14（福岡市）への認定式が行われました。（写真＝左から：熊本康隆代表取締役、高木市長）



千年小学校 3 年生「黒砂糖作り」を体験（11 月 14 日、吉井町橋田の中島畑）昔、市内でも栽培されたさとうきびから黒砂糖が製造されていました。子ども達は収穫したさとうきびを機械で絞り、絞り汁を鍋で煮て黒砂糖にする工程を、千年さとうきびの会の指導で学びました。



第 32 回宇美八幡宮小倉百人一首かるた大会で優勝かるた大会（11 月 3 日、宇美町）にうきは市民大学子ども未来学部百人一首・五色かるた部から小学生 12 名・中学生 2 名が出場し、2 名が見事入賞しました（E 級優勝：松田悠奈さん、D 級準優勝：松崎桃子さん）。



「うきは市癒しの旅先案内人協会」創立 10 周年記念講演会（11 月 22 日、うきは市民センター小ホール）大牟田市の不知火病院理事長 徳永雄一郎さんから、「森の癒しについて聞いてみよう～ストレスケアの専門家から見た森林セラピーの効果～」という演題で講演いただきました。



「柿の紅葉も見事」（11 月 18 日撮影、浮羽町朝田の一の瀬付近）甘柿の生産が盛んなうきは市、11 月には主力の富有柿の収穫がピークを迎えるなか、山麓の柿畑が一面真っ赤に染まりました。最近注目を浴びる浮羽稲荷神社にも、普段よりもたくさんの観光客が訪れていました。